

東鷹栖まちづくり推進協議会 会議録（令和4年度 第2回）

日 時	令和4年12月12日（月） 午後6時30分～午後8時00分
場 所	旭川市東鷹栖支所 大会議室
出席者	委員12名 千葉委員，濱坂委員，石井委員，大久保委員，岡田委員，川瀬委員，川村委員，鈴木委員，高橋委員，中田委員，栗山委員，庄司委員 ----- 事務局（東鷹栖支所長ほか2名）
会議の公開・非公開	公開
傍聴者	なし
会議資料	・会議次第
会議内容	
1 開会	
2 会長挨拶	会長から挨拶があった。
3 議事	<p>(1) 将来ビジョンを意識した地域課題の検討について (事務局) 東鷹栖地域の現在の状況や課題，今後の取組について，意見はありますか？ (委員) 現在，東鷹栖で取り組んでいる4つの事業の間で，つながりや交流がないのが残念だ。それぞれ異なる世代と立場の人が異なる分野の活動をしているのだから，せつくなのでまち協としてつながりが持てるようにしたい。 (委員) 盆踊りの時など小学校で太鼓をしようと思っていたが，コロナ禍で何もできなくなった。太鼓の活動を通じて高齢者と子どもとのつながりを持とうとしたが，できていない。 (委員) 委員には消防団の方もいるので，防災をキーワードに事業をしたらどうか。旭川は災害が少ないが，ハザードマップを見ると東鷹栖は浸水しやすい地域もある。防災の取組をきっかけに住民が集まって，災害時の対応や情報の共有など取り組んだら良いと思う。他には，振り込め詐欺をテーマにするなど。 (副会長) 旭川は平和だから，あまり防災訓練などしない。みんな集まってやったらいい。 (委員) 事業をきっかけに人が集まればいい。昔は住民同士が声をかけ合って集まって防災訓練をやっていた。今は，隣の人が何をやってるか知らない。町内会も入らない。昔のようなやり方は考えないとダメかもしれない。 (副会長) 今は，隣人の様子が本当に分からないものだ。 (委員) 何かと個人情報だと言われるが，これを勘違いしているように感じる。以前，</p>

	<p>小学校で行事があったときに20～30代くらいの親に名前を聞いたら「個人情報だから言えません。」と言われた。今は、こういう人が地域にたくさんいる。「向こう三軒両隣」と言ったものだが、関わりが希薄になりさみしく感じる。</p> <p>(副会長) とりあえず、次の取組として防災訓練を検討したい。</p> <p>(事務局) バドミントンの活動の様子はどうですか？</p> <p>(委員) 参加者が年々減ってきており、今は8人しかいない。近二小は4名、他は近一小や永山小から来ている。指導してくれる先生もいなくなってしまった。今は、お母さんたちが指導してくれているが、仕事がある人もいるので中々厳しい。東鷹栖出身の人は、バドミントンが上手な人が多い。高校生などが遊びにくるついでに教えてくれたり、中学生との交流なども考えたい。入りたい人が増えないかなど、様々な課題を考えるのはお母さんたちである。</p> <p>(事務局) 本日、示された意見につきまして、事務局で概要をまとめますので、次回、具体的な検討をしていただきたいと思います。</p>
4 その他	事務局から令和4年度合同研修会の案内について説明があり、1月20日までにFAXか返信用封筒で出欠を連絡するよう依頼があった。
5 閉会	